

第2回 機械力学レポート

《課題》 図1のように、質量 m [kg]、半径 r [m] の剛体円板が、高さ h [m] の段差に接して静止している状態で、力 F を加える。剛体円板が段差を乗り越えるのに必要な力 F の大きさを求めよ。ただし、円板は段差の角で滑りも跳ね返りもしないものとし、また、重力加速度の大きさを g [m/s²] とする。

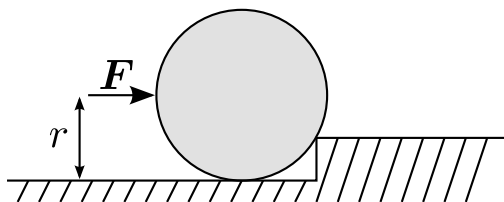


図 1: 剛体にはたらく力

注意事項

- 提出方法：
 - <http://edu.katzlab.jp/lec/mdyn> の「提出用紙」を印刷して使用すること。
 - **1枚以内**で解答し、裏面使用時には、「裏につづく」と明記すること。
よく似たレポートは**不正行為の証拠**とする。(当期全単位0)
- 提出期限： 次回の前日(次々回以降は、原則として受け取らない)
- 提出先： 機械棟3階 システム力学研究室(2)のレポート提出ボックス